

# 日本語補講

開講期間：2011年10月12日（水）より2012年2月1日（水）  
平成23年度冬学期（12月23日より1月9日まで冬休み）

対 象：東京大学大学院総合文化研究科、数理科学研究科、東京大学教養学部に所属する外国人留学生および外国人研究者

募集人数：各クラス約15名

開講されるクラス：以下の6クラス

R	読む	上級
W3	書く（上級）	上級
W2	書く	中級後期～上級
L	聞く話す	中級後期～上級
I1	中級前期	中級前期
I2	中級後期	中級後期

受講のための手続き：

期間：2011年10月3日（月）より10月31日（月）まで

方法：受講申込書に必要事項を記入のうえ、国際交流支援係（アドミニストレーション棟1階）に提出のこと。なお、受講希望者は以下の日時に行われるガイダンスに必ず出席して下さい。

日本語補講ガイダンス

10月5日（水）13:00より15:00まで（8号館205教室）

10月6日（木）13:00より15:00まで（8号館208教室）

- \* 授業内容についての説明とプレテストを行います。
- \* 再受講の方は、オリエンテーションに出席する必要はありません。ただし、今までより上のレベルを受講希望の場合、プレテストを受ける必要がありますので、オリエンテーションに出席してください。

備 考：補講クラスですので単位認定はありませんが、3クラス以上修了したものには、修了書を発行します。

問い合わせ先：

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部

国際交流支援係／駒場インターナショナルオフィス・サポートセンター

（アドミニストレーション棟1階）03-5454-6064

プログラム：

クラス	授業内容	担当教官	曜限	教室
R 読む (上級)	<p>目標：専門的な文章や時事問題を扱った文章を読んでその内容を理解し、要約したり意見を述べたりする力を養う。</p> <p>授業内容：</p> <p>①読解A 授業中に配布される読解資料をその場で読み、設問に答える。その後、読解資料の内容の解説、ディスカッションを行う。</p> <p>②読解B あらかじめ配布された読解資料を読み、設問に答えてくる。授業では内容の把握、ディスカッションを行う。</p> <p>A、Bともに、読解資料中の文法項目、語彙、表現を取り上げ、理解し運用できるようにする。</p> <p>課題 読解Bで扱った読解資料の中から自分の好きなものを選び、その内容と自分の意見をA4用紙2ページ程度にまとめる。</p> <p>* 授業の初回にガイダンスを行い、詳しい授業内容について説明する。</p> <p>参考テキスト：</p> <p>『上級日本語教科書 文化へのまなざし』            東京大学 AIKOM 日本語プログラム            近藤安月子・丸山千歌編 東京大学出版会</p> <p>『知の技法』 小林康夫・船曳建夫編 東京大学出版会</p> <p>『新・知の技法』 小林康夫・船曳建夫編 東京大学出版会</p> <p>『学問の扉』 東京大学編 講談社</p> <p>『日本の論点』 文芸春秋社</p> <p>『上級で学ぶテーマ別日本語』 阿部裕子他 研究社</p> <p>朝日新聞、毎日新聞、日本経済新聞などの記事（主としてコラム）</p> <p>その他</p> <p>修了の条件：</p> <p>1) 出席：10回（全13回）</p> <p>2) 課題の提出</p>	佐藤由紀子	水3	8-205

W2	書く (中級後期～上級)	<p><u>目標</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論理的な文章のための日本語表現を学び、自分の考えを的確に書けるようにする。</li> <li>・ 自分の調べたことや考えをレポートにまとめる。</li> </ul> <p><u>授業内容</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 表記の仕方</li> <li>2. 文体と書きことば</li> <li>3. 文章の基本 (1)</li> <li>4. 文章の基本 (2)</li> <li>5. 文のつながり</li> <li>6. 段落の構成</li> <li>7. 比較対象する／定義する</li> <li>8. 因果関係／手順を述べる・列挙する</li> <li>9. 意見を述べる</li> <li>10. 引用する</li> <li>11. 資料を論じる</li> <li>12. レポートを書く (1)</li> <li>13. レポートを書く (2)</li> </ol> <p><u>参考テキスト</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 『大学・大学院 留学生の日本語②作文編』アルク</li> <li>② 『留学生のための論理的な文章の書き方』スリーエー</li> <li>③ 『大学で学ぶための日本語ライティング』The Japan Times</li> <li>④ 『小論文への12のステップ』スリーエー</li> </ol> <p><u>修了の条件</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 出席：10回 (全13回)</li> <li>2) 課題の提出</li> </ol>	*けらいくこ 木原郁子	木2	8-208
----	-----------------	---	----------------	----	-------

W3	書く3 上級 (上級)	<p><b>目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語のレポートや論文を作成するために必要な知識と表現技術を身につける。</li> <li>・読み手の存在を意識することにより、文章の質を高める。</li> </ul> <p><b>教材</b></p> <p>アカデミック・ジャパニーズ研究会編著『大学・大学院留学生の日本語 ④論文作成編』アルク 他、配布資料</p> <p>(参考テキスト：浜田麻里・平尾得子・由井紀久子『大学生と留学生のための論文ワークブック』くろしお出版、二通信子・佐藤不二子『留学生のための論理的な文章の書き方』スリーエーネットワーク)</p> <p><b>内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 論文の構成要素</li> <li>2. 文体・表現</li> <li>3. 課題・目的の提示</li> <li>4. 定義・分類・列挙</li> <li>5. 図表の説明</li> <li>6. 原因の考察</li> <li>7. 引用</li> <li>8. 帰結・結論の提示</li> <li>9. 専門分野の論文の分析</li> <li>10. 論文作成練習(1-9を学びながら、論文の一部の作成を行う)</li> </ol> <p><b>【注意事項】</b></p> <p>このコースは、個人的なレポートや論文を添削するものではありません。日本語でレポートや論文が書けるようになるために、授業で学び、練習するものです。</p> <p>したがって、授業内容に応じた課題や作文を提出してもらうことがありますが、授業外のレポートや作文などは受け付けないので注意してください。</p>	田代ひとみ	水4	114
----	-------------------	--	-------	----	-----

L	<p>聞く・話す (中級後期～ 上級)</p>	<p><u>目標</u> ニュースやドキュメンタリー、やや専門的な内容の解説などを聞いて理解し、また、その内容に関する質問に答えたり、意見を述べたりするなどの活動を通して、時事性や専門性のあるテーマについて、聞いたり話したりする力を養う。</p> <p><u>教材</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業で音声を聞いたり、視聴したりする教材は、授業担当者が用意する。</li> <li>・ 必要に応じて資料等を配付する。</li> </ul> <p><u>授業内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニュースやドキュメンタリー、まとまった内容の独話（解説、講義、発表など）等を、メモをとったり、資料を見たりしながら聞く。</li> <li>・ 聞いた内容に関する質問に答えたり、内容を要約したりする。</li> <li>・ 聞いた内容や指定されたテーマについてディスカッションを行う。</li> <li>・ 自分の考えや意見を発表する。</li> <li>・ 以上の活動の中で、新出の語や表現の意味・用法を理解し、使えるように練習する。</li> <li>・ この授業では、語の意味調べや日本語のニュースの視聴など、宿題を出す予定である。</li> </ul>	<p><small>あいはらじゅんこ</small> 饗場淳子</p>	水 2	8-205
---	---------------------------------	--	---	-----	-------

11	中級前期 (中級前期)	<p><u>目標</u> 日本語を理解し、人とコミュニケーションを行うために、話す力、読む力、聞く力、書く力を高める。</p> <p><u>教材</u> 受講者の日本語力に応じて、『日本語中級J301』（スリーエーネットワーク）、『日本語中級J501』（同）などから抜粋。</p> <p><u>内容</u> 1. 初級文法の復習。 2. 読み物に出てきた言葉・漢字・文型・表現を学ぶ。 3. 読み物の内容を理解し、そのトピックについて意見を言ったり書いたりする。 4. 会話練習。</p>	江崎裕子	木3	8-208
----	----------------	--	------	----	-------

12	中級後期 (中級後期)	<p><u>目標</u> 読解、口頭発表、作文などの力を総合的に伸ばしていき、上級レベルに到達することを旨とする。</p> <p><u>教材</u> 『中・上級日本語教科書 日本への招待』 (東京大学出版会) から抜粋。</p> <p><u>内容</u> 現代日本社会について考えるための切り口となるようなテーマを設定し(例、若者の感性、仕事への意識など)それに沿って、読解、資料の分析、ディスカッション、発表、作文などの活動を行う。さらに、テーマに関連がある情報を、自分で集めて分析する練習も行う。</p>	江崎裕子	木4	8-208
----	----------------	--	------	----	-------

時間割：

	月	火	水	木	金
I 時限 9:00-10:30					
II 時限 10:40-12:10			L 饗場 8-205	W2 木原 8-208	
III 時限 13:00-14:30			R 佐藤 8-205	I1 江崎 8-208	
IV 時限 14:40-16:10			W3 田代 114	I2 江崎 8-208	
V 時限 16:20-17:50					

日本語補講受講申込み書

1. 氏名： (男・女)

2. 国籍：

3. 所属： 研究科 専攻

博士・修士 年 研究生

教養学部 類 年 研究生

4. 学籍番号：

5. 指導教員：

6. 住所：

電話：

E-mail：

7. 日本語学習歴： 年

8. 受講希望のクラス：

希望するすべてのクラスに○をつけて下さい。

人数の関係やプリテストの結果でかならずしも希望のクラスがとれない場合があります。

R W2 W3 L I1 I2